

道州制とは何か？

道州制で日本の未来は開けるか？

—講演とシンポジウム—

「道州制にすれば九州は活性化する」などの声とともに、道州制の枠組みを想定した広域プロジェクトの具体化や、先取りの動きが目立つようになってきました。

熊本県と熊本市は、道州制実現に向けた共同研究会を発足させました。一方、全国町村長会は、平成の大合併の反省の上で道州制に反対を表明しています。

現在、政府や財界が提言している道州制に関する文書や議論を見る限り、道州制の経済効果はもとより、憲法で保障された地方自治や基本的人権、住民の暮らしや小規模自治体の問題などからみて、重大な問題をはらんでいることは明らかです。このままずると道州制が導入されるようなことになれば、地域間格差をさらに広げ、今日の日本の現状をさらに悪化させる可能性があります。

今回、道州制とは何か、それが私たちの暮らしにどのような影響を及ぼすのかを学ぶ講演会とシンポジウムを開催することにいたしました。各界の方々の参加を心から呼びかけます。

7月14日は大雨のために延期しましたが、期待に応じて今回同じ内容で開催します。



●とき 2012年9月17日（月・祝日）13時30分～16時30分

●ところ 熊本市国際交流会館

熊本市中央区花畑町4番18号 TEL：096-359-2020

●参加費 500円

●講師 **村上 博氏** 広島修道大学教授（行政学）広島自治体問題研究所理事長

著書「広域行政の法理」など多数

都合で講師が変更になりました。

テーマ 「道州制と地方自治」

●シンポジウム **テーマ「道州制で地方はどうなる」**

講師の村上 博先生にも参加いただき、市町村や公務員など各界の方から報告を受け論議を深めます。

主催：平和・民主・確信の日本をめざす熊本の会（略称：熊本県革新懇話会）

NPO法人くまもと地域自治体研究所 TEL 096-383-3531